

## 平成21年度の成果

プログラムの目的のために、下記の4科目をさらに発展させた。

### (1) 国際研究集会企画演習

大学院生が中心となり、小規模の国際研究集会を企画・立案・実行した。

1. Symmetry and Symmetry Breaking (H21年7月30日) 20名参加
2. International Workshop on Physics of Nuclei at Extremes (H22年1月26日) 36名参加
3. Workshop on Exotic Nuclei and Modern Shell Model (H22年2月9日) 31名参加
4. Physics with Stopped and Slow Radioisotope beams(SSRI) (H22年3月1日・2日) 約70名参加

### (2) 国際研究実地演習

大学院学生を海外の主要な研究機関の現場等へ派遣し、国際的な環境の中で研究を発展させる。

派遣は延べ15名で、内訳は、アメリカ6名、フランス1名、ドイツ1名、ボリビア1名、アルゼンチン1名、インド2名、韓国3名である。

### (3) 研究企画演習

非常勤講師を招き、「研究企画と研究マネジメント」について集中講義を行った。

### (4) 英語理学講義

外国人講師6名(内1名は2回講義を行った)を招聘し、以下のタイトルで英語による講義を行った。

1. Online System of a Reactor Theta 13 Detector.
2. Investigating Quantum Mysteries with Light
3. Expected Physics Results from the ATLAS Experiment
4. The Top Quark
5. Supernova Explosion and Nucleosynthesis
6. New Trends in the Nuclear Shell Structure
7. Cosmic Rays in the Solar System and in Earth's Magnetosphere at the Solar Minimum.

(5) 上記の4科目に加えて、FGIP:Foreign Graduate Students Invitation Program を行った。

外国の博士課程の大学院生を招聘して、日本人大学院生との共同研究を連携する。  
招聘は5名で、内訳は、フランス2名、中国2名、イギリス1名である。

当プログラムは、平成21年11月には学内評価を受け、高い評価（評価A）を得た。